

式 辞

旭川沿いの桜の花吹雪も終わりに近づき、春の七草の可憐な花々に本格的な春の到来を覚える今日のこの佳き日、PTA会長井藤公量(いとう きみかず)様はじめPTA役員の皆様並びに保護者の皆様方の御臨席を賜り、岡山県立岡山操山高等学校 平成二十七年度入学式を挙げてまいりますことは、本校生徒及び教職員にとりまして大きな喜びであり、皆様に厚く御礼を申し上げます。

ただいま入学を許可された新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さんは、ただ今をもって岡山県立岡山操山高等学校の生徒となりました。本校は、明治三十三年開校の岡山県高等女学校および大正十年開校の岡山県第二岡山中学校をその源とし、昭和二十四年に岡山県立岡山操山高等学校として誕生した県下屈指の伝統校です。また、平成十四年には岡山県立岡山操山中学校を併設するとともに、「夢実現型単位制」や「未来航路プロジェクト」など、特色ある教育活動を推進してきた気鋭の学校でもあります。

さらに、この平成二十七年度からは、本校は文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受けることが決定し、『和して流れず』の精神で、岡山と日本の未来を切り拓くグローバル・リーダーの育成を目指して、これまでの取組をさらに深化・充実させていくこととなります。本校では、まず、グローバルリーダーに必要な資質・能力として「幅広く深い教養」「課題解決能力」「コミュニケーション能力」「リーダーシップ」「社会貢献の意識」を掲げています。そして、大学の研究者や大学院生と連携して課題研究を進める「未来航路」、海外研修や海外の学校等との連携によって課題研究を進める「SOZAN国際塾」そして各教科の授業の中で資質・能力の向上を図る「GLOBAL STUDIES」の三つの取組を通して、生徒がより広い視野で物事を捉え、主体的に考えて行動し、様々な課題を解決することのできる人間として成長することを期待したいと考えています。

このような「スーパーグローバルハイスクール」をはじめとする本校の様々な取組は、生徒の皆さんがこれからのグローバル社会を逞しく生きるための資質と能力を育むとともに、今後加速されていく高校教育や大学教育の改革、そして大学入試の抜本的な改革にも対応する「確かな学力」を育むものとなると信じています。

このような操山高校に入学される新入生の皆さんには、まず「高い志を掲げる」操山生となることを期待します。「高い志を掲げる」とは、単に難関大学合格を目指す、ということではありません。「高い志を掲げる」とは、まず自分は自分独自の資質と能力をもつユニークな存在であることを認めることです。自分の存在価値を感じるために他人と自分を比較して一喜一憂する必要はありません。一人ひとりが大きな可能性を秘めた素晴らしい存在であることに気付くことが大切です。そして、「高い志を掲げる」とは、自分もつ資質や能力、興味や関心そして使命感を活かす生き方、自分が目標とする生き方を探り求め、その目標に向かって困難を厭うことなく努力し始めることです。もし自分が目標とする生き方を達成するために大学に進学することが必要であれば、たとえそれが難関大学であったとしても、怯むことなくそのための努力を開始してください。皆さんの人生は一度限りです。この一度限りの人生をいかに生きるか、これが皆さんに与えられた大切な課題です。「自分自身の生き方は何か」「自分が生きる目的はどこにあるのか」を深く熱心に考えてください。哲学者ニーチェは『なぜ生きるか』に答え得る人は、ほとんどすべての『いかに生きるか』

に耐えることができる」と言っています。自分の人生の意味と目的とを知る人が、様々な困難をも克服できる最も強い人なのだと私は思います。

そして、新入生の皆さんは、互いの多様性を認め、受け入れることのできる操山生となることも期待します。先に述べたように、新入生の皆さん一人ひとり、それぞれ異なる人格や能力あるいは資質・能力を持つ、ユニークでかけがえのない存在です。また皆さんの出身中学校は三十数校におよび、それぞれが異なる中学校での学習活動や学校行事・部活動などを経験してきました。百万種以上存在する生物の多様性が豊かな自然生態系をもたらしているのと同様に、皆さん一人一人の個性、能力あるいは経験の多様性が、この岡山操山高校に新しい活力と可能性を与えます。皆さんは、それぞれの性格や考え方、経験の違いを尊重し、互いに受け入れてください。相手の考え方や意見が自分とは異なることに驚いたり、憤慨して相手を排除する必要はありません。むしろ、お互いの考えや意見の相違が表面化した時が始まりであると考え、そこから互いの意見や方策を調整し、共通の課題を克服するために協働して解決策を見出すことが大切であると考えて下さい。

これからの時代を生きるためのキーワードは「主体性、多様性、協働性」であると言われております。新入生の皆さんには、この岡山操山高校で、自ら進んで主体的に学習や学校行事・部活動等に取り組み、互いの多様性を認め、活かしながら、協働して有意義な高校生活を創造されることを期待しています。

保護者の皆様、お子様の御入学、まことにおめでとうございます。お子様は、貴重な青春の三年間を本校で学ばれることを決意され、本日入学されました。

お子様にとっては、本校でのこれからの三年間は、自分の人生の在り方を模索し、自分の責任において将来の道筋を選ぶ大切な時期になります。また、甚だ僭越な言い方ですが、お子様の高校三年間は、保護者の皆様にとっても子育ての総仕上げの時期であると思います。三年後にお子様がこの操山高校を飛び立つときは、同時に、お子様が一人の独立した人格として親元を離れ、社会の荒海に漕ぎ出すときでもあります。三年後にお子様が無事に、顔を未来に真っ直ぐに向けて立ち立っていかれる姿を思い描かれ、その備えを進められることが大切ではないでしょうか。私たち教職員も、それまでの期間に、お子様が自分の将来を具体的に思い描き、必要な資質や能力を伸ばすことができるよう、全力で指導・支援させていただきたいと思っております。どうか、本校教育に対しましても、格別の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、御多忙の中、御臨席いただきましたPTA役員の皆様および保護者の皆様に改めて感謝申し上げます、式辞といたします。

平成二十七年四月八日

岡山県立岡山操山高等学校
校長 松沢 克彦